

福岡大学病院で実施されている人を対象とする医学系研究に関する情報公開

整理番号

15-7-02

研究課題名

ANCA関連血管炎および結節性多発動脈炎の治療法および予後に関する調査研究

研究責任者

腎臓・膠原病内科

講師

三宅 勝久

試料・情報の利用目的・方法

ANCA関連血管炎は自己抗体であるANCA(抗好中球細胞質抗体)が血液検査で陽性となることを特徴とする血管炎の総称であり、多発血管炎性肉芽腫症、顕微鏡的多発血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症が含まれます。また結節性多発動脈炎は中小動脈を障害する血管炎です。この病気は早期診断し治療することが重要ですが、症状改善後再発すること多いことが知られ、維持療法が必要ともされています。血管炎に対する治療法は、臓器障害の程度、合併症の有無、年齢などにより治療法が選択され、ステロイドまたはステロイドと免疫抑制剤を併用した治療が行われます。免疫抑制剤としては、サイクロフォスファミド、メトトレキサート、アザチオプリンなどが使用されますが、近年では生物製剤であるリツキシマブのANCA関連血管炎に対する有用性が証明され、本邦でも適応が認可されています。現在、血管炎の治療法は欧米の研究を元に行っていることが多いですが、血管炎の疾患分布や年齢は欧米のものとも異なることが知られ、本邦における研究も必要とされています。今回の研究では、各疾患に対して行われた治療法および予後を調査することを目的としています。この調査研究によって、最適な治療法の確立につながり、今後の患者さんの治療に大きく役立つことが期待されます。

研究期間： 開始日

病院長許可日

～

2025/3/31

(予定終了日)

試料・情報の項目

検査データ、診療録

試料・情報の管理責任者

研究責任者：三宅 勝久

利用する者の範囲

研究責任者及び研究責任者が指名した研究者(福岡大学内)

他の研究機関への試料・情報の提供先:

佐賀大学病院 膠原病・リウマチ科

※ 研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止しますので、下記へご連絡ください。

連絡先： 三宅 勝久

電話番号:福岡大学病院(代表)092-801-1011

福岡大学病院 病院長